

## 令和5年度 第1回女川町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時：令和5年6月13日（火） 13：30～15：00
2. 場 所：女川町役場庁舎 3階大会議室
3. 議 事：（1）現計画（女川町地域公共交通網形成計画）の評価検証について  
（2）女川町地域公共交通計画策定に係る考え方について  
（3）各種調査の実施概要について  
（4）女川町地域公共交通計画策定に係るスケジュール（案）  
（5）その他

### ■議事概要

○事務局から(1)～(3)の説明後、以下の質疑をおこなった。

#### (1) 現計画（女川町地域公共交通網形成計画）の評価検証について

A委員 指標達成状況の部分。例えば、計画策定時の運行本数という部分で、これはあくまでも便数を増やした、というだけの話であって、実際に利用者が増えたのかどうか良くわからない。4番「町民一人当たりの町民バスの利用回数」ということで、全体は見ているが、まちなかエリアが増えたのかどうか、そういうあたりをもう少し丁寧に見ていただきたい。これはこれで良いですけども。

特に、まちなかを活性化するというので、行って帰るだけではなくて、まちなかで回遊しているか、そういう利用が増えたということなのか、あるいは使い勝手が悪いのか、そういうところを丁寧にみていく必要があるのではないかなというところですよ。

事務局 生活軸の運行本数につきまして総本数しか現状お伝えしておりませんでした。申し訳ございません。ご意見をいただきました生活軸の利用人数等につきましては、今回策定予定の地域公共交通計画の指標などの参考にさせていただきますと思います。

こちら、生活軸の本数だけでなく、生活軸の利用した人数というところも指標として落とし込めないか検討していきたいと思っております。

町民バスの往復利用というところも、町民アンケート調査の中で、片道利用なのか往復利用なのかといったところを調査したいと思っておりますので、そういったところで、また町民バスの利便性というところを調査していきたいと考えております。

A委員 この5年間、そうとうコロナの影響がもろに入っているんで、JRとミヤコーバスの利用者数というのが、まさにそういう影響を受けている。ただそれが最近回復傾向にはあるのであろうということで、そのあたり、分析上コロナの影響は除外できないのですが、何か、そのあたりを除外するような形で指標を評価してあげないといけないのかなと、そのあたりうまく表現できたらいいなと思っております。

事務局 現状、最終年度、令和4年度の数値だけ説明させていただいたのですが、計画の指標を維持活性化というところで整理させていただいております。そういった指標のところとして、折れ線グラフなど、これまでの過去十年間とかのグラフを作成できるかどうかということも、これまでの実績を確認しまして資料の方は準備していきたいと思っております。

## (2) 女川町地域公共交通計画策定に係る考え方について

B委員 「課題の認識」のところで、来年かかる出島架橋について触れていますが、橋がかかった後、バスを開設するなどそういった構想というのはおありですか。

事務局 出島までの公共交通というところを事務局でも検討をしております、既存のバスの定時定路線の町民バスの運行がいいのか、デマンド交通とした方がいいのか、タクシー券などのタクシー補助を行った方がいいのかというようところで、現状、結論は出ていません。来年度のことになりますので、引き続き検討していきたいと考えております。

B委員 仮に町民バスを開設する場合は、フィーダー系統のバスになるので国庫補助を活用できる可能性があります。ただ、要件として新規性の要件があるとのことで、その辺を利用することでご検討いただければと思います。

事務局 ありがとうございます。先日、宮城県様から、フィーダー系統補助の資料をいただいております。補助要件等を確認しながら、検討を進めていきたいと思っております。

A委員 「施策イメージ(案)(1)「地域内交通」の再編・見直し」で、肝心かなめの町民バス本体のダイヤの見直しというところがちょっと見えてこないで先ほど、いろいろ分析していくとまだまだ改善の余地があるのではないかというのは予測しているのですが、ただ実際、今回、これまでの改変でうまくいけるということであれば、あえて載せなくてもいいけれども、このあたりが今後、検討が必要かなというのはあります。

それから(2)「広域都市間交通」のところで、JRさん、ミヤコーバスさんの路線の維持、活性化というところが、重要だと言っているわけですが、残念ながら、我々は利用実態をちゃんと把握できていないというところがあって、これについては他のローカル線の方からも、JRさんにデータを出してもらえませんか、という話をしたら、便別のデータはない、といわれまして、ということは、もうこちらで調査を一緒にせざる得ない可能性があって、これを掴んだ上で、JRさんとミヤコーバスさんの活性化がある。ということが今回のテーマになってくる可能性はあるかなと思います。

事務局 「(1)「地域内交通」の再編・見直し」という所で町民バスの再編・ダイヤの改正というところが抜けておりました大変申し訳ございませんでした。事務局としても継続するものと思っております、記載の方が抜けておりました。町民バスの再編・ダイヤ改正ということも、今年度の町

民アンケートの結果などに取り組みまして、検討していく必要があると思いますので、引き続き、行っていききたいと思いますの。施策イメージ（案）の下の方に追加したいと思います。

また、「(2)「広域都市間交通」の維持・活性化」というところで、データを出してもらえないというお話ございますが、例えば、自前で、調査員が電車に乗って乗降調査が可能なのかどうかということも踏まえて、調査ができるかどうかということも事務局で検討をしていきたいと思っております。

会長

JRの時間ごとの乗降がどうなっているのか知りたいという話を県の担当課としました。何かよい方法はないだろうか。どうしようかという話をして終わってしまったのが実態です。何かデータがあれば、どうにかできるのではないかと考えていまして、県の地域交通政策課長には、なおお願いしております。

A委員

運輸局で調査費が出せるようなニュアンスで言っていた。

B委員

10月1日から国の新制度がでる予定です。

会長

ちなみにミヤコーバスさんはデータをご提供いただけるのですか。

C委員

ICカードのデータを提供することはできる。石巻市と相談してください。

D委員

「施策イメージ（案）(4)利用・運行環境の改善」の部分で、デジタルサイネージ、と、GTF Sというのは、どういうイメージなのか。

事務局

デジタルサイネージは電光掲示板というか、液晶のようなものをバス停の代わりに設置して、そこにいろいろな、例えば時刻表を表示させたり、町内のマップを表示したり、そういったことができるようなものをさしております。

オープンデータ化のGTF Sについては、今Googleの方で、バスの運行情報をグーグルマップとかで検索した時に、公表、検索できるようにすることができるものを、GTF Sといっていて、そのGTF SはGoogleの方に掲載するものになりますが、今、国の方で、GTF Sではない、運行情報の共通フォーマット化ということで進めておりまして、GTF Sに対応しなくてもその国の共通フォーマットに対応することで、ジョルダンさんとかナビタイムさんとかでも、いろいろ検索した時に、何時にバスが来るのか等を掲載してくれるということで、鉄道から町民バスの乗り継ぎが検索できたりするというような形になっています。

さらにGTF Sの方についてはGTF S-JPとGTF S-RTというふうに大きく二つにデータが分かれています。GTF S-JPというのが、いわゆる静的データで、時刻表ですとかバス停の位置のような情報になります。GTF S-RTというがリアルタイム情報ということで、今バスがどこにいるのかというのを提供するような形になります。

一時、町内でも、バスロケーションシステムを試験的に導入してはりましたが、そのバスの位置情報を提供することで、今バスがどこにいるのかというのも合わせて提供することができる、というような形になっていま

す。

D委員  
事務局

初期投資というか、経費はそれなりにかかるという感じですか。  
G T F S - J Pの静的データの方については、データフォーマットを作るのに手間がかかるというところではありますが、何かハード整備等は特段必要がないので、そんなに大きな費用がかかるというものではないです。

### (3) 各種調査の実施概要について

E委員  
事務局

五部浦や北浦などポストがない地区があり、できるだけ多くアンケートを回収したいので、区長さんを経由して回収できるようにしてほしい。  
区長さんと相談しまして、検討させていただきたいと思います。  
貴重なご意見ありがとうございます。

A委員

以前も同じような調査をやっているのですが、その時の回収率とかが分かりますか。

内容については、自動車の保有状況というところの設問ですが、これは免許取得者を意識した設問ですが、免許ない人はどう答えるのか。それはそれとして、今度、送迎の可能性っていうことは、聞いておきたいです。

それから、5年前と比べて変化があったかというのは、コロナの影響ということになってしまう。コロナの影響を除外した形で、回答をとりたい。

あと、J Rとミヤコーバスのところで、乗り継ぎが悪いというのがある。町内の状況に加えて、石巻市側で影響あるかもしれないので、石巻市側の状況も聞く必要があるのかなというのがありました。

事務局

1点目の前回のアンケート調査というところですが、資料3の3ページの平成30年度の実施概要をご覧ください。2,000人を対象としてアンケートを行っておりまして、回収票数は723票、回収率は36.5%というのが、平成30年度の実績でございました。

直近ですと、令和3年度、全世帯配布のアンケートを行っておりまして、こちらが令和3年度の7月に実施しておりました。こちらにつきましては全体的に2,736世帯、調査票を配布しておりまして、791票回収となっております。回収率は28.9%というような状況でございました。

アンケートの内容につきまして1点目が自動車の保有状況についてだったと思いますけれども、ご指摘の通り、免許を保有した方みの回答になってしまっています。

また、送迎については、4ページ目の方の問19の方で、「送迎でのお困りごと」ということで、こちらで、少し送迎に関する設問は設けるような形にしておりました。

あと5年前の外出状況についてということで、おっしゃる通りコロナの状況が入ってきてしまうかなということで、調査票を検討する際にコロナに関する設問を別途設けようかとは思ったのですが、設問がなかなか多くなってしまったために、現状で削ったような形になってしまいました。そ

のあたりまた改めてご相談させていただければと思います。

あと、JRさん、あとミヤコーさんとの乗り継ぎのところは、町外の乗り継ぎの部分についても、設問として増やすことはできるかなと思っておりました。なので、実態として把握することはできるかと思いますので、その点についてもまた事務局内で検討させていただきつつ先生にもご相談させていただきたいなというふうに思っております。

すいません。回答になっておりますでしょうか。

A委員  
事務局

アンケートは分量的には同じくらいか。

平成30年度実施の調査については、今回と同じA4版8ページのボリュームになっております。大体、ボリューム感としては同じくらいです。

令和3年度のアンケートにつきましては全部で33問のアンケートをとっておりました。

#### (4) 女川町地域公共交通計画策定に係るスケジュール (案)

○事務局から説明をおこなった。質疑は特になし。

#### (5) その他

○特になし。

以上